

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども通所支援サービス じりつ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月5日		～ 令和7年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年11月5日		～ 令和7年12月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・コミュニケーションのちからや、社会性を高めていただけるような活動提供や関わりかたを心がけております。	<ul style="list-style-type: none"> ・こども会議などで、相手の話を最後まで黙って聞く練習や、自分の考えを頭の中でまとめて他の児童さんに発表する練習、会議中離席せずに会議に集中する練習をしていただいております。 ・児童様と会話する際、児童様が話された内容に、形容詞や助動詞などの言葉をひとつ付け加えたり、助詞を修正したりして、お返ししたりしています。 ・集団活動や遊びの中での様子を見守りながら、コミュニケーションについてや社会性について、必要な助言をしています。 ・長期休みの際などに、風船やストローを使った活動や、パタカラ体操などの、口腔機能を高める体操に取り組んでいただいております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションについては、STの助言も受けながら、可能な訓練や活動に取り組んでいただきます。 ・こども会議では、参加される児童さんの課題や長所を考慮しながら、テーマ設定や、質問のしかたの工夫（閉じられた質問と、開かれた質問の使い分けなど）しつつ実施します。 ・こども会議の場で、SSTの訓練も実施していきます。
2	・時間の構造化、空間の構造化、手順の構造化など、児童の皆様が過ごしやすく、活動しやすい環境設定や支援を心がけております。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習に取り組む際には、名札や荷物かごを準備し、パーテーションで区切ったご本人専用のスペースを確保しています。 ・個別スケジュールに、時計のイラストなども記載しながら、時系列で、その日の活動を提示しています。 ・個別スケジュールに、「かならずやること」を設定し、タスクに取り組む意識を高める支援をしています。 ・創作活動や集団活動で、必要に応じて、視覚的なてがかりとして、手順のイラストを提示しています。 ・ご自宅で使える、「おうちに帰ってねるまでにすること」のスケジュールを作成し、ご提供しています。ご要望に応じて、内容の修正も行っております。 ・休憩や遊びの中で、タイマーを使っていただき、時間への意識を高める支援を行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が、時間を意識して、見通しを立てて行動するちからを高められるよう、時計の読み方についても、必要な訓練を行っていきます。
3	・学校での授業や日常生活の中で、コミュニケーションについての様々な課題をもっておられ、ストレスを抱えやすい状況ですので、必要なストレスケアを行っております。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスケアの取り組みとして、認知行動療法のマインドfulnessを実施し、過去にあった嫌な事を思い出したり、予期不安で苦しんだりするのではなく、「今ここ」に意識を向ける練習をしていただいております。 ・仲の良いお友達と遊んでいただいたり、好きな創作活動に取り組んでいただいたりすることで、気晴らしをしていただけるように支援しています。コーピングスキルを増やしていただけるよう、様々な創作活動やおそびを経験していただけるよう努めております。 ・児童さんのご様子を見守りながら、必要に応じて、個別面談を行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人にあったストレス解消の方法（コーピングスキル）を見つけていただけるよう、さまざまな活動を経験していただけます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、情報提供が、まだ不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画のご説明時などに、支援内容やその効果についてご説明していますが、日々の活動についても、連絡帳を通してや、お迎え時などにご説明する必要がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいや効果などについて、情報提供をします。 ・療育に関する情報を収集し、ご提供します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ、公園あそびなどの外出をする機会が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校日は、児童様の下校時刻のばらつきがあり、送迎で人員をさかざるをえないため、まとまったの外出が難しい状況です。 ・休校日の外出も、児童様の帰宅時刻、迎え時刻のばらつきがあり、職員を個別に事業所に戻らせるなどの対応が必要となり、児童の安全確保が難しくなるため、外出の計画自体も少なめでしたが、その日に、職員の休みが出ると、外出自体を中止せざるをえなくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全確保を最優先としつつ、遮蔽物があるべく少なく見守りしやすい安全な場所への外出を検討していきます。 ・熱中症や感染症など、健康面への影響も配慮しながら、健康で快適に過ごせる空間での活動を検討します。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内に、段差などがあり、完全なバリアフリー化ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのところ、肢体不自由の障害があらわれる児童様のご利用がなかったため、段差解消などの対策をしていませんでした 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、必要に応じて、段差解消などを行っていきます。